

推薦する取り組み	園館名
QOL あげあげモンキーアパート	飯田市立動物園

推薦理由

飯田市立動物園で暮らすヒヒは、今年 26 歳になるメスで、昔ながらのモンキーアパートで、1 頭で生活しています。担当当初は人に怯え、刺激への耐性も低く、神経質な様子が見られました。展示場はコンクリート床で渡り木も少なく、狭く無機質な環境で、地面で過ごし餌を食べるだけという変化の乏しい日々でした。そもそもこんな狭い環境の中で動物を暮らせるべきではありませんが、動物がここで生きている以上、限られた空間の中でもより良い暮らしと幸せを提供したいという思いから、環境改善と関わり方の見直しに取り組みました。まず行動範囲を広げるため渡り木を増設し、その後、探索行動を促すため土と落ち葉を敷きました。さらに、1 日に複数回の手渡し給餌を行い、人との関係性も段階的に築いていきました。また餌の内容についても見直しを行い、以前は果物や食パン、煮た野菜などが中心だったものを、できるだけ野生に近い食性に近づけるため、日々異なる野菜や肉、草木などに変更しました。こうした餌の改善も、行動の変化や健康面に大きく影響していると考えています。これらの取り組みは急激に変えるのではなく、小さな変化から徐々に進め、負担を抑えながら慣らしていきました。

その結果、止まり木を使って移動する姿が増え、活動量は大きく向上しました。土や落ち葉の中に隠した餌を探す行動も見られるようになり、日常に探索という新たな刺激が加わりました。新しい環境や刺激にも落ち着いて対応できるようになり、内面的な変化も感じられます。さらに、毛艶や毛並み、体格にも良い変化が現れ、模様や色もはっきりとしてきました。環境と関わり方、そして餌内容の工夫を重ねることで、ヒヒの暮らしの質は着実に向上し、より豊かでより良い健全な生活へとつながっています。



7 年前と同じ角度での最近のヒヒ



7 年前のヒヒ



改善後のヒヒ舎



改善前のヒヒ舎



最近のヒヒ

推薦する取り組み	園館名
動物福祉向上企画「それゆけ！エンちゃん」	飯田市立動物園

推薦理由

当園の課題として、小さな子供連れの来園者が多く、環境エンリッチメントをわかりやすく伝えるのが難しいことがありました。

そこで、来園者自身が動物たちの環境改善に参加でき、飼育員には定期的に環境改善のきっかけを作れる仕組みとして、動物福祉向上企画「エンリッチメント号」の取り組みを始めました。

この取り組みは、古くなった遊具を新しくする際、その遊具の売り上げを動物たちに使いたいと考えたところから始まりました。

クラウドファンディングに挑戦し「子供の楽しい体験で動物たちの暮らしを豊かにしたい」と支援を呼びかけたところ、138 名の方から総額 1,142,341 円のご支援をいただき、遊具を購入できました。

2025 年 3 月にこの遊具のお披露目式を開催し、近隣の保育園児を招待して試乗会を行いました。遊具は環境エンリッチメントの普及を目的に「エンちゃん」と名付け、利用料金はすべて動物たちのために使われることを紹介しました。

現在は 1 回遊ぶと 1 枚シールがもらえ、それを飼育員が考えた環境エンリッチメントアイディアに投票する仕組みになっています。

投票で選ばれたアイディアには予算が確保されるため、飼育員が新たなエンリッチメントに挑戦する後押しにもなっています。

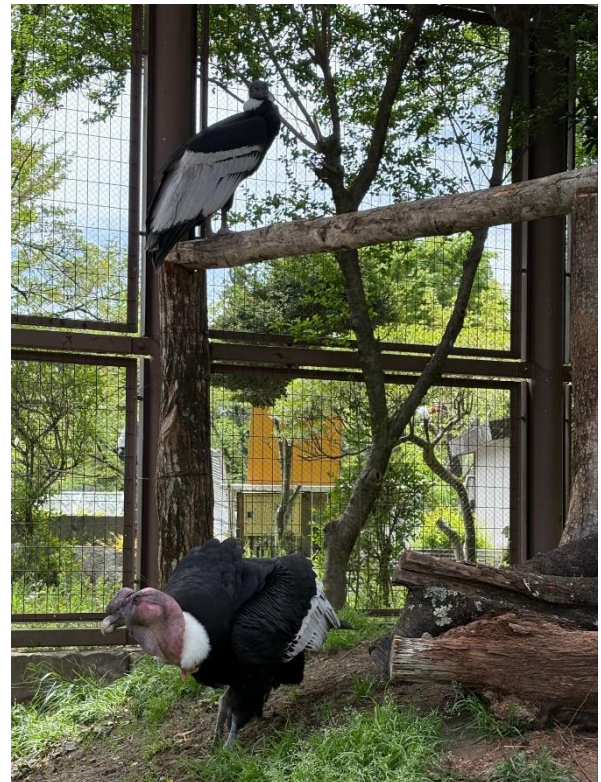
これまでに 1700 票以上の投票をいただき、5 件のアイディアを実現してきました。

活動が続ける中で、取り組みに共感した企業から、これまで入手が難しかったエサ用サボテンや、自然木の丸太を継続的に寄附していただけるようになり、投票された以外の動物にも利用できるようになりました。

今後は、定期的な投票以外の今必要な環境改善に活用できるようにすることや、来園者自身もアイディアを考え提案できるような方法も取り入れ、動物にとっても来園者にとってもよりよい取り組みに発展させていきたいです。



カピバラのかじり木



コンドルの止まり木



リクガメにサボテン



金魚に大きな水槽



投票の様子